

「平成18年度食料・農業・農村の動向」(動向編) 作成に当たっての考え方(案)

平成18年9月

1 基本的考え方

(1) 食料・農業・農村に関する動向や主要施策についての国民の理解の促進に役立つよう、簡潔に分かりやすく情報を提供することとする。

(2) その際の以下のこと留意することとする。

食料・農業・農村基本計画(以下「基本計画」という。)のもとでの主要政策課題に関わる最近の動向、主要施策の進捗状況、農村現場や各主体(行政、農業関係機関、生産者、事業者、消費者等)の具体的な取組状況を明らかにしつつ、分析・検討を行う。18年度は、基本計画に基づく取組の2年目であることから、食料自給率の向上、担い手の育成・確保、品目横断的政策への転換、地域資源の保全管理政策等、進展が見込まれる取組に注目する。

豊かな食生活の中で、距離が拡大し、互いの関係が見えにくくなつたと言われる消費(食)と生産(農)の関係について、その現状と相互の距離を縮める取組等を紹介・分析するとともに、消費と生産の相互関係の強化に向けた課題を整理する。

全国的には景気回復基調にある中での農村地域の経済状況等を明らかにしつつ、農村地域においての攻めの視点に立った新たな可能性の追求の取組や、地域資源を活かした挑戦、取組等を紹介・分析し、今後の農村地域の活性化に向けた課題を整理する。

2 分野毎の分析・検討の主な視点

(1) 食料分野

食の安全及び消費者の信頼確保に向けた取組の分析と課題の整理

食料消費や食生活の変化、食と健康との関係の分析

食育や地産地消等の地域に根ざした取組、食料産業におけるフードシステム改革に向けた取組、その他食料自給率行動計画に基づく各種の取組の分析と課題の整理

国際的な農産物需給の動向、農産物貿易をめぐる国際交渉(WTO、FTA/EPA)の動向、我が国の取組状況の整理

(2) 農業分野

集落営農を含む担い手の育成・確保の現状や、課題の整理
新規就農、雇用労働の動向や、担い手の経営の分析

耕作放棄地の動向、農地流動化の経済的分析や地域別特徴等農地をめぐる動向と課題の整理

最近の農業構造の変化の分析と課題の整理や、「品目横断的経営安定対策」の取組状況の整理

地域農業の競争力強化、高付加価値化に向けた取組(知的財産、革新的技術等)、戦略的な農産物輸出の取組や、環境保全型農業の推進の取組の分析と課題の整理

米、麦、大豆、野菜、果実、畜産の生産及び消費の動向、関連対策の取組状況の分析と課題の整理

(3) 農村分野

少子・高齢化の進展している農村社会の人口動態や社会活動の変化の分析

農村地域の経済状況の分析、食と農の連携、クラスター等による農村経済の活性化の現状の分析と課題の整理

「農地・水・環境保全向上対策」の取組状況や、地域資源を活かしたバイオ燃料等バイオマスの利活用の現状の分析と課題の整理

農村の地域資源の活用や団塊世代の動向に着目した都市との共生・対流の取組の分析と、豊かな国民の生活実現に向けた課題の整理

3 作成上の留意事項

より分かりやすく、親しみやすい白書となるよう、以下の点に留意する。

読者の関心や興味を喚起するようなコラムや現場の実態を浮き彫りにする取組事例の掲載

図表、写真、イラストの活用

長い文章や専門的な用語・カタカナ用語の使用の回避

重点的な分野とそうでない分野でのメリハリをつけることによる分量の削減